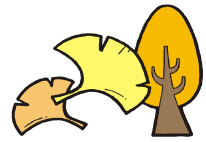




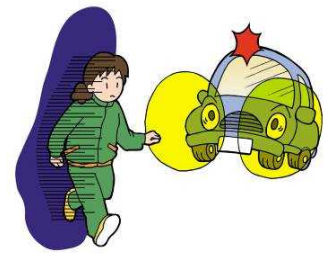
前照灯早め点灯 4時からライト!



毎年、10月から12月の3ヶ月は、死亡事故など重大な結果となる交通事故が多発しています。

昨年は、10月に6人、11月に7人、12月に4人と、3ヶ月で17人（一昨年より6人増）の人が亡くなっておられます。一昨年より減少傾向ですが、特に11月は7人と多くの方が亡くなっておられます。

なぜ事故が多い?



① 日の入り時間が早くなるから

<滋賀県（大津市）の日の入り時刻>

9月1日	午後6時24分
10月1日	午後5時41分
11月1日	午後5時03分
12月1日	午後4時45分

9月1日と12月1日では、約1時間40分も早くなっており、通勤や買い物など交通量が多くなる時間帯と、薄暗くなる時間が重なり、交通事故の危険性が高まります。

② ライトを点灯するタイミングが遅くなるから

7月や8月は午後7時を回ってもまだライトが要らないほど明るいですが、「秋の日は釣瓶落とし」と言われるように、「まだ早い」と思っているうちに辺りが暗くなって、道端の歩行者に「ドキッ」とした、という経験をお持ちの方も多いのではないでしょうか。

③ 気候が良く、外出の機会が増えるから

紅葉狩りやドライブなど行楽に絶好の時期で、自動車等での外出の機会が多くなるほか、ジョギングなど屋外での運動の機会も増えます。



④ 年末が近づくとつれ気ぜわしくなるから

年の瀬に向けて事業活動が活発になり、交通量が増加します。

どんな事故が多い？

昨年の10月から12月の交通事故を分析しますと、3つの特徴があります。

① 薄暮時間帯(16時~18時)に多発

昨年の10月~12月の交通事故のうち、221件(約16.8%)が薄暮時間帯に発生しています。

② 死亡事故が多発

昨年の死者55人のうち、17人(約30.9%)がこの3ヶ月に亡くなっています。

③ 高齢者事故が多発

昨年の高齢者が関わる交通事故1,383件のうち、391件(約28.3%)がこの3ヶ月間に発生しています。

事故防止対策は？

① 前照灯の早め点灯を！

「早め点灯 4時からライト！！」を合言葉に、自動車も自転車も早めにライトを点けて存在を目立たせましょう。



② 明るい色の服装や反射材を身に付けよう！

特に高齢者の方は、自動車などから早く見つけてもらえるように工夫しましょう。



③ 速度を落として走ろう！

薄暮時間帯は辺りが見えにくいので、昼間より10キロは速度を落として走行しましょう。

④ 全席シートベルトの着用を！

自動車乗車中の死者13人(8月末)のうち、3人がシートベルトを着用していませんでした。シートベルトを着用していれば、そのうち2人は助かった可能性があります。

大難を小難にするのはシートベルトです。後部座席も必ずシートベルトの着用を！

⑤ 飲酒運転の根絶を！

飲酒運転が関係する事故は、8月末で20件は発生しており、亡くなられたのは0人でしたが、37人もの方が負傷されており、昨年同時期より減少しているものの飲酒運転による事故は無くなってはいません。

絶対に飲酒運転はいけません。みんなで飲酒運転を根絶しましょう。



10月から「早め点灯 4時からライト」で

夕暮れ事故をストップ！